



5月9日、10日に行われた野田神幸祭。加茂神社、貴船神社で楽打ちや獅子舞が舞われました



5月3日、4日に行われた上津野神幸祭。3日は大雨のため神輿は出ませんでしたが高木神社で深夜まで神樂が舞われました



5月3日、4日に行われた上落合神幸祭。須佐神社やBRT彦山駅近くのお旅所で楽打ちや獅子舞が舞われました



町長室

広報そえだ

ホタルが川面を舞い、やわらかな光が初夏の訪れを告げる季節となりました。▼まもなく梅雨入りを迎え、山々の緑はいっそう深まり、私たちの暮らしもまた、自然の恵みに支えられていることを実感いたします。▼これからのまちづくりは、誰か一人が担うものではありません。行政だけでも、また一部の人だけでも成し得るものではなく、地域に暮らす皆さん一人ひとりの関わりがあつてこそ前に進みます。そして、その歩みを止めず、時代に合わせて進化させていく覚悟が必要です。▼さて、人口減少や高齢化により各集落に人はいなくなる、そうなるという層層しい財政状況となる。と言うようなことを背景に、「農村はたむべきではないか」という議論が、いまだに聞こえてくることあります。確かに、現実には決して楽観できるものではありません。しかし、だからといって地域の灯を消してしまうような選択が、本当に私たちの望む未来でしょうか。▼私は、これまで一貫して「縮小ではなく縮充」という考え方を大切にまいりました。すべてを維持するのではなく、必要なものにしつかりと力を注ぎ、暮らしの質を高めていく。その中核となるのが、「みんなでまちづくり」であり、地域ごとに支え合う「小

さな拠点づくり」です。▼添田町では、それぞれの地域が主体となり、知恵を出し合いながら活動が広がっています。買い物や通院を支える取り組み、地域の交流を生む拠点づくり、そして子どもから高齢者までが関わる行事の再生。こうした一つひとつの積み重ねこそが、「にぎやかな過疎」を実現する力であると確信しています。▼にぎやかな過疎とは、単に人の数を増やすことではありません。人と人がつながり、地域の中で役割と居場所を持ち、誇りを持って暮らせる状態をつくることです。そこには、これまでの延長線上にある取り組みの継続と同時に、新たな発想を取り入れていく柔軟さが求められます。▼町の将来を見据えたとき、これまで大切にしてきた考え方を継ぎながらも、新しい風を取り入れ、さらに前へ進めていくことが欠かせません。地域の歴史や文化を尊び、人のつながりを大切にしながら、未来への一歩を踏み出す。その積み重ねが、次の時代の添田町を形づくっていくのだと思います。▼ホタルの光が静かに、しかし確かに夜を照らすように、私たちのまちづくりもまた、一つ一つの小さな取り組みが集まり、大きな力となっていくべきです。これからも引き継ぐべきは引き継ぎ「にぎやかな過疎、その先の一歩」を皆さんとともに歩んでまいりましょう。

さな拠点づくり」です。▼添田町では、それぞれの地域が主体となり、知恵を出し合いながら活動が広がっています。買い物や通院を支える取り組み、地域の交流を生む拠点づくり、そして子どもから高齢者までが関わる行事の再生。こうした一つひとつの積み重ねこそが、「にぎやかな過疎」を実現する力であると確信しています。▼にぎやかな過疎とは、単に人の数を増やすことではありません。人と人がつながり、地域の中で役割と居場所を持ち、誇りを持って暮らせる状態をつくることです。そこには、これまでの延長線上にある取り組みの継続と同時に、新たな発想を取り入れていく柔軟さが求められます。▼町の将来を見据えたとき、これまで大切にしてきた考え方を継ぎながらも、新しい風を取り入れ、さらに前へ進めていくことが欠かせません。地域の歴史や文化を尊び、人のつながりを大切にしながら、未来への一歩を踏み出す。その積み重ねが、次の時代の添田町を形づくっていくのだと思います。▼ホタルの光が静かに、しかし確かに夜を照らすように、私たちのまちづくりもまた、一つ一つの小さな取り組みが集まり、大きな力となっていくべきです。これからも引き継ぐべきは引き継ぎ「にぎやかな過疎、その先の一歩」を皆さんとともに歩んでまいりましょう。

発行：添田町 編集：総務課  
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 21-51 番地  
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869  
ホームページ：https://www.town.soeda.fukuoka.jp

印刷：マツオ印刷株式会社  
QRコードは株式会社マツオ印刷の登録商標です